



2017年9月15日
 カブドットコム証券株式会社
 (コード番号:8703 東証1部)
 代表執行役社長 齋藤 正勝

**SNS や POS データを活用した Finatext/ナウキャスト社配信ニュースの UI を刷新
 ~データドリブン型の投資情報の拡充を行うことで、個人投資家ならではの着眼点による銘柄選びをサポート~**

カブドットコム証券株式会社は、株式会社 Finatext(本社:東京都千代田区、代表取締役:林良太、以下「Finatext」)と株式会社ナウキャスト(同、以下「ナウキャスト」)と協業強化し、2017年9月19日(予定)より、トレーディングツール「kabuステーション®」にて配信を行っている「ソーシャルモメンタム」「リアルタイム消費財トレンド」のUIを刷新し、配信ニュースの拡充を行います。

当社では今後も、ビッグデータ解析・活用のパイオニアである Finatext/ナウキャストとの連携を強化し、投資パフォーマンス向上に役立つ判断材料の提供を行うことで、お客さまの投資成績の向上に貢献してまいります。

※「ソーシャルモメンタム」「リアルタイム消費財トレンド」のご利用は、kabuステーション®の Fintech プラン以上のご契約が必要です。

●「ビッグデータ解析で経済の今を知る」ニュースの活用事例等紹介する専用サイトオープン

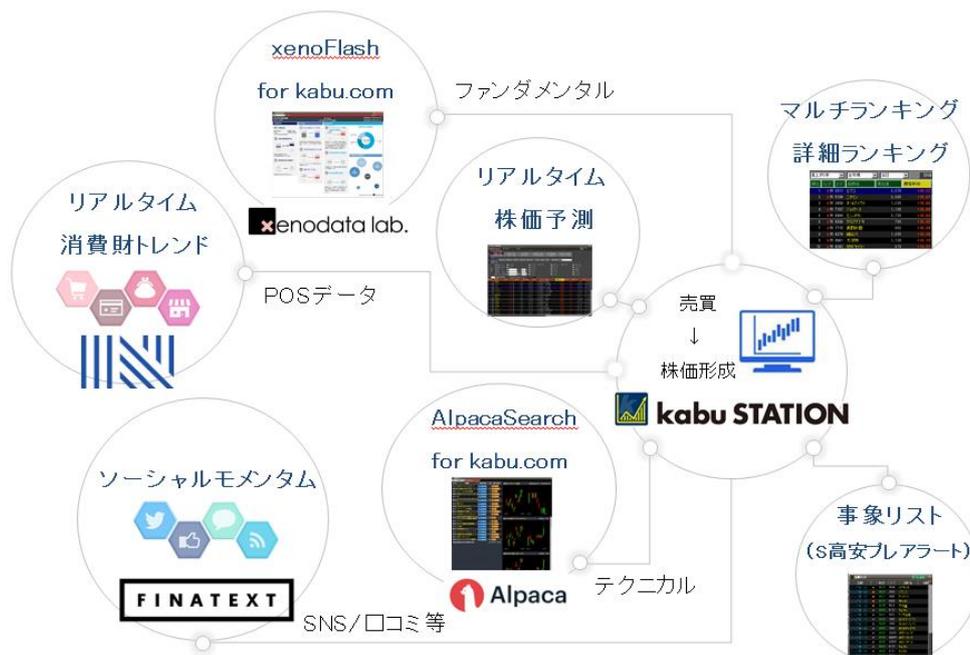
この度の UI 刷新、配信ニュースの拡充に伴い、「ソーシャルモメンタム」「リアルタイム消費財トレンド」それぞれの活用事例をご紹介する専用サイトをオープンいたしました。

独自のビッグデータ解析技術、情報サービスにより、データドリブン型の投資情報の拡充を行うことで、個人投資家ならではの着眼点による銘柄選びをサポートしてまいります。



<http://kabu.com/kabustation/bigdata/default.html>

<kabuステーション®での AI×ビッグデータ活用の俯瞰図>



わたしたちは MUFG です。

● Fintech で求められる金融機関の実践として

当社では、1999年の創業以来「金融のIT化」をその企業理念の一つに据え、技術主導によるリスク管理の追求と顧客満足度の向上に注力して参りました。2017年4月にはFintech領域における先端研究・事業開発をより促進するため「イノベーション推進部」を新設し、今日までの経験とノウハウを踏み台として、次世代金融サービスへの挑戦と同時に、これまで以上に顧客志向で利便性が高いサービスの提供と拡充を目指してまいります。

また、MUFGグループが2015年に設立した邦銀初のスタートアップアクセラレータ・プログラム「MUFG Digital アクセラレータ」選出企業をはじめとするFintech領域におけるスタートアップ企業との協業展開を推進し、Fintechを通じた金融サービスの発展に貢献してまいります。

(参考)Fintech 領域におけるスタートアップ企業との取り組み実績

2016年4月8日 [Fintech ベンチャーFinatext 社とビッグデータ領域における協業開始](#)

2016年10月5日 [リアルタイムの消費財動向を「kabu ステーション®」にてニュース配信開始](#)

2016年10月17日 [イスラエル発のフィンテックスタートアップ ZEROBILLBANKと協働し、ジオフェンシング技術とブロックチェーンを活用した企業コイン「OOIRI」を導入](#)

2017年4月6日 [画像認識 AI と並列ベクトル計算による超高速リアルタイム処理を活用したチャートツール「AlpacaSearch for kabu.com」の提供を開始](#)

2017年7月14日 [決算短信を高速で自動分析するレポートサービス「xenoFlash for kabu.com」の提供を開始](#)

2017年7月28日 [投信ビジネスのRPA化に取組む「ロボット投信」と協働し、信託報酬実額シミュレーションツールを提供](#)

2017年9月6日 [ロボット投信と協業強化し投信の基準価額の変動要因を可視化しフィデューシャリー・デューティを高度化](#)

● 株式会社 Finatext について

2013年設立の東京大学発 Fintech ベンチャー企業。金融に関する豊富な知識・経験を基盤に、それを誰にでも分かりやすい UI/UX に落としこみ、非常に短い期間で開発を行う技術力を持つ。役立つ！みんなの株当てアプリ『あすかぶ！』や FX アプリ『かる FX』、投信選びをサポートするアプリ『Fundect』、そして投資を身近に体験するアプリ『Moneby』を開発・運営。台湾、ロンドン、マレーシアに法人を設立するなど、グローバル展開も注力しております。



● 株式会社ナウキャストについて

ナウキャストは「経済の“今”を知る」ことが出来る世界の実現を目指し、ビッグデータ解析により、消費者物価指数、商業動態統計を始めとする経済統計のリアルタイム化、企業の経営戦略の見える化を行う東京大学発 Fintech ベンチャー企業。東大渡辺努研究室における『東大日次物価指数(現:日経 CPINow)』プロジェクトを前身として2015年2月に設立された。現在リアルタイム統計データベースサービス『日経 CPINOW』『JCB 消費 NOW』等を展開し、国内外 300 社以上の金融機関、シンクタンク、政府、政府系金融機関、海外ヘッジファンド等の資産運用、経済調査業務を支援しています。



<kabu ステーション® 利用料金/無料利用条件>

kabu ステーション® (本体) ご利用料は972円(税込)/月ですが、お客さまのお取引実績や口座状況に応じて、無料でご利用いただけます。詳細は、利用料金/無料利用条件(<http://kabu.com/kabustation/services.html#2>)

<個別銘柄ランキング「ソーシャルモメンタム」について>

<https://finatext-com.s3-ap-northeast-1.amazonaws.com/socialmomentum.html>

<「リアルタイム消費財トレンド」ランキング集計基準について>

<https://finatext-com.s3-ap-northeast-1.amazonaws.com/realtimeconsumergoodstrend.html>

わたしたちは MUFG です。

カブドットコム証券 <http://kabu.com>

東証1部【8703】

<証券投資に関する手数料等およびリスクについて>

・カブドットコム証券のお取扱商品へのご投資の際は、各商品に所定の手数料や諸経費等をご負担いただく場合があります。各商品等は価格の変動、金利の変動、為替の変動等により投資元本を割り込むおそれがあり、また商品等によっては投資元本を超える損失(元本超過損)が生じるおそれがあります。

・各商品の手数料等は、商品、銘柄、取引金額、取引チャネル等により異なり多岐にわたるため、具体的な金額または計算方法を記載することができません。手数料等の詳細は、当社ホームページ(<http://kabu.com/cost/>)をご覧ください。手数料等には消費税が含まれます。

・当社お取扱商品の手数料等およびリスクの詳細については、契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、約款・規定集および当社ホームページの「ご投資にかかる手数料等およびリスクについて」(<http://kabu.com/company/pressrelease/info/escapeclause.html>)や取引ルール等をよくお読みの上、投資の最終決定はご自身のご判断とご責任でおこなってください。

※掲載情報は2017年9月15日現在のものです。詳細および最新情報は当社ホームページ(<http://kabu.com/>)にてご確認ください。

●お問い合わせ・ご相談・苦情等

お客様サポートセンター フリーコール 0120-390-390

※携帯・PHS・050で始まるIP電話からは03-6688-8888(※通話料は有料になります)

●苦情について当社以外の窓口

特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター フリーダイヤル 0120-64-5005

【カブドットコム証券株式会社】

【金融商品取引業者登録:関東財務局長(金商)第61号】

【銀行代理業許可:関東財務局長(銀代)第8号】

【加入協会:日本証券業協会・一般社団法人 金融先物取引業協会】

<本件に関する報道関係からのお問い合わせ先>

担当:経営管理部 広報担当 大西 勝二 TEL:03-3551-5111

わたしたちは  MUFGです。